

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)

【公開番号】特開 2000-254677 (P2000-254677A)
 【公開日】平成 12 年 9 月 19 日 (2000.9.19)
 【出願番号】特願 平 11-59745
 【国際特許分類】

C 0 2 F 3/10 (2006.01)

【F I】

C 0 2 F 3/10 Z A B Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 2 月 20 日 (2006.2.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0 0 0 4】

このように汚水物質を微生物の活動により浄化させる方法は、自然の生態系における作用に類似しており、熱などのエネルギーを殆ど必要とせず、ランニングコストが低く、また有害物質が発生することがなく、設置スペースが小さくて足りるなどの多くの利点がある。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 7】

この織物 4 を織成するには、ダブルキャリアー方式のニードル織機により織成することができる。すなわち、たて糸 6 を織物 4 の中央で折り畳んだ状態に配置し、そこへそれぞれ別個のニードルに通したよこ糸 7 a、7 b を織り込んで織物 4 の両半部をそれぞれ織成し、その二枚の織物部分の耳部を綴じ糸 8 で一体に綴じ合わせて一体とし、然る後二枚の織物部分を綴じ合わせた耳部を中心に開いて、一枚の織物 4 とする。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 8】

【作用】

本発明の接触材 1 は、図 4 に示すように、水面付近と水底付近に設置されたパイプ 13 などの支持手段の間に、本発明の接触材 1 を多数垂直に張り渡して設置する。そしてこの状態において、水底から空気を吹き込んで曝気することにより、接触材 1 に付着した微生物が水中の汚染物質を生化学的に好氣的に分解し、水を浄化する。なお図面には示していないが、接触材 1 を捻った状態で設置することにより、より多くの微生物を付着させることができる。